

健友

原水禁署名運動の記念碑
「オーロラの碑」(杉並区荻窪)「巨
原水禁署名運動は区立公
民館(現荻窪体育館)から
全国に広がった。



菅井 巨・画

ヘルパーは第二の友人

ヘルパーほっと物語

利用者の療養と生活を支えます

療養や介護のある生活になくはならないヘルパー。利用者にとってヘルパーとは。健友会ヘルパーセッションほっとのヘルパーを追いました。

楽しい会話

「佐藤さん、昔はサクスを吹いてたんだよね」「今はホラもふいてるよ」。音楽鑑賞が趣味の佐藤孟さん(81歳、要介護2)。部屋には何本ものオーディオ機器の配線。ヘルパーは楽しい

本当にうまい

一人暮らしが長い佐藤さん。「ヘルパーさんが朝来て、『今日も元氣そ

うね』と言ってくれるの、掃除機が一番うれしい」。楽しいはヘルパーの手料理。「気持ちだけでもおいしうけど、本当にうまい」と佐藤さん。

安全な暮らしを

食事、日用品などの買い物、入浴などを行います。

ヘルパーは、食事、日用品などの買い物、入浴などを行います。

耳を傾けて

「病気のためうまく話せない時、幻覚をみる時もありです。でも自尊心を傷つけず傾聴します。

心の支えです

「友人は囲碁仲間の一人だけ。だから次の友人はヘルパーだよ。心の支えです」と佐藤さん。今日もヘルパーは自転車を走らせています。利用者さんが待っています。

支えたい、その人らしい暮らしや楽しみ

健友会ヘルパーセッション
ほっと所長 金子恵美子さん



利用者のみなさんがご自宅で、その人らしい

生活の楽しみを見つけてながら暮らせる介護を医療や地域と連携して、めざしています。

「させて頂きありがとうございます」の感謝の気持ち、人生の先輩への尊敬の気持ちをもって利用者

さんと接していきたいです。

利用者さんの笑顔と、ありがとうの言葉に励まされ、ヘルパーさんは日々がんばっています。

利用者さんの心に寄り添い、安心の在宅生活の一端を担っていることは私たちのやりがいであり、誇りです。

こんな介護をめざすヘルパー仲間をふやしたいと思えます。

平和を沖縄から学びました

辺野古支援連帯行動に参加した健友会職員



鈴木さん(左)と横山さん
沖繩・辺野古に米軍基地は作らせない。2月12、14日の全日本民医連第19次辺野古支援連帯行動に参加した中野野共立病院リハビリ室の鈴木希美さんと中野共立診療所医事課の横山由希子さん。2人と

鈴木希美さん
横山由希子さん

米軍普天間基地見学。移転先候補の名護市辺野古での建設反対住民との交流などを通じて何を感しましたか。

鈴木さんは「実際に現地へ行かなければ知ることのなかった多くのことを学ぶことができました。平和であるからこそ今の生活があることを実感しました

職員への報告活動が始まっています。「聞いた方が次回の支援連帯行動に行きたいと思ってもらえるよう報告活動をがんばりたい。」



当初、薬を決まった時間に飲めなかった佐藤さん。信頼するヘルパーの励ましもあり、飲むようになりました。

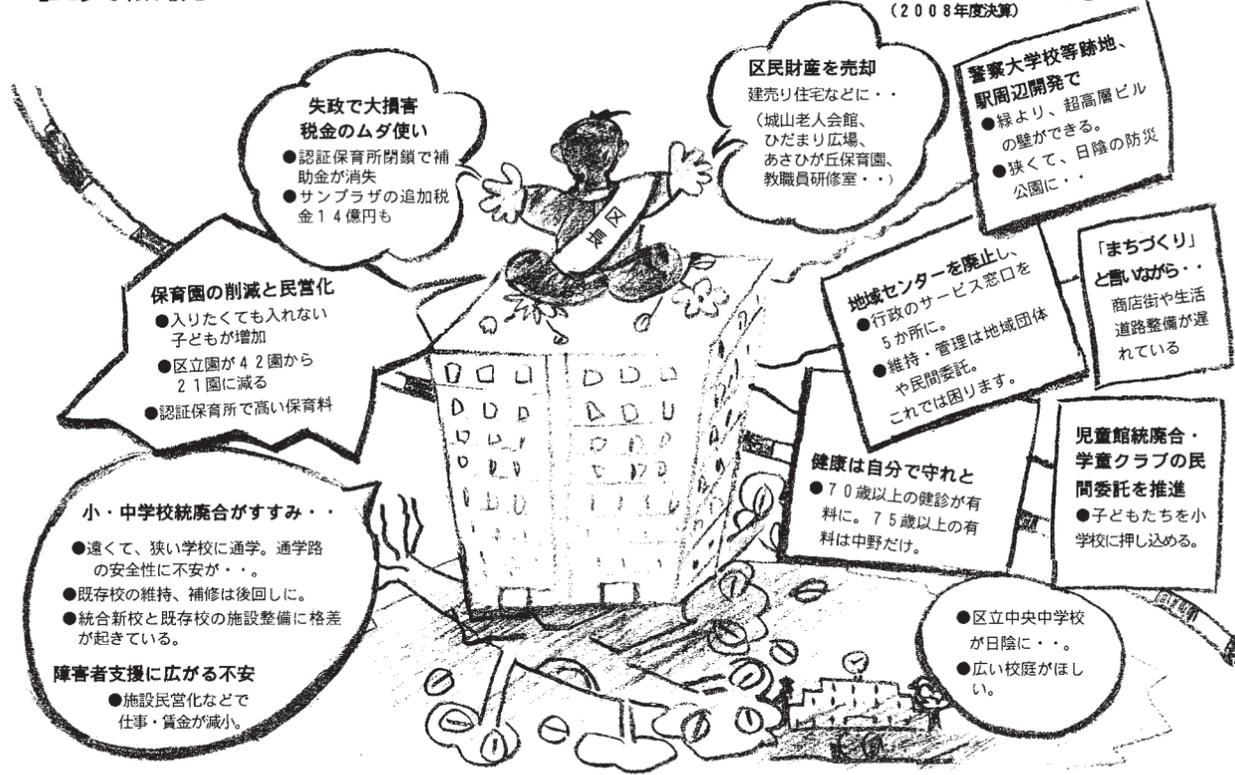
「友人は囲碁仲間の一人だけ。だから次の友人はヘルパーだよ。心の支えです」と佐藤さん。今日もヘルパーは自転車を走らせています。利用者さんが待っています。

医療・入院 往診・介護 生活のご相談
気軽にお電話ください
健友会 電話 03-3387-3051

「春は名のみの風の寒さや(早春賦)」
▼エルニーニョ現象で春の訪れが早まったようである。しかし私たちの暮らしを明るくする春は、まだまだ遠い。政治の世界は、得体のしれない灰色の雲におおわれている。生活費を1円削るのに四苦八苦の庶民には無縁の、億単位の力ネと政治家。その実態は明らかにされない▼友愛を掲げる政策の先行きは見通せない。政権への信頼は失われ、内閣支持率は続落。「命を守る政治」という言葉も空念仏に聞こえる▼事業仕分けの第2弾に、信頼回復がかかっているというが、刷新には国会議員の仕分けが必要であろう。仕分け人はもちろん国民、次の選挙で厳しく仕分けしたい▼公約の実現は、普天間基地問題は5月、後期高齢者医療制度廃止は4年後など、いずれも先送り。私たちの暮らしに、春はいつ来るのだろうか。答えは鳩に豆鉄砲の表情で、「時にあらざ」と。(き)

区民無視の「10か年計画」。ため込まれた400億円

(2008年度決算)



5月23日は中野区長選挙

新しい区長を実現して 今度こそ、にんげんのまち 中野をとりもどそう

有料の後期健診は23区で中野区だけ

<作成>中野区「10か年計画」の見直しを求める区民連絡会

5月23日は中野区長選挙です。2期8年続いた田中区政は、大規模開発を最優先にし、区民の健康や生活に冷たい区政でした。

東京23区で唯一、75歳以上の健診を有料にしているのは中野区だけ。国民健康保険料は、来年度も値上げです。介護施設建設計画も不十分です。

しかし、田中区長は、中野区「10か年計画」を見直し、中野駅・東中野駅周辺の大規模開発をすすめようとしています。区民の生活はながいのです(図をご覧ください)。区民に優しい施策を切り捨てため込んだ基金は区民のために使うべきです。

今度こそ、区民に優しい区政に変えるために、5月23日の区長選挙は絶好の機会です。

だから日本国憲法

伊藤塾塾長・伊藤真氏の講演から(上)

健友会・東医研は新春講演会「輝く日本国憲法」を1月27日開き、伊藤真氏(弁護士、伊藤塾塾長)が講演しました。その要旨を紹介いたします。(文責・編集部)



人はみな同じで違う 人は何かの手段ではない

幸福の中味はみんな違います。憲法は、一人ひとりが自分で決めた幸福を追求するプロセスを大切にします。幸福追求権の保障です。人間は生き様そのものに価値があるからです。これが人権の考え方です。

戦争で役立つ国民は価値がある、企業の金儲けに役に立つ社員は価値があるという発想はやめようというのが人権の考え方です。重い障害で動けない人もいます。その人にも、生きていくだけがかげがえのない価値があります。人間は何かの道具や手段として価値があるのではありませぬ。命が続いている過程そのものに価値があるのだと憲法は考えます。

医療現場にも生きる憲法

強弱の関係がある市民社会でも、少数派、弱者を守る憲法の価値が大切になります。専門的知識をもった医師には、弱い立場にある患者とのギャップを埋めるために、十分な説明と同意が求められます。これは、憲法の価値を医療の現場に活かしたものです。(続く)

政治権力を縛る 憲法

選挙で選ばれたヒト



岡安研修医 食事を体験

中野共立友の会



食事を「あした」は2月9日、主菜をポトフに、十穀米のご飯、五目豆などを17人でおいしく食べました。研修医の岡安智道医師(写真)が参加し、以前食べたものを思い出すこと、クイズを考案することが「脳力」アップにつながる話し、食事が前回100回目だったことになんて100歳にまつわるクイズなどをなごやかに行いました。(関)

認知症の寸劇に笑いと拍手 新春のつどい

ぬましん健康友の会

1月17日、今年初めて地域老人クラブと共催し、沼袋地域センターに78人が参加。津軽三味線、民謡、日本舞踊など楽しい雰囲気



の中、役員と職員による認知症の寸劇には大きな拍手がわきました。(桃田)

楽しい集いに「毎年来たたい」

城西診療所友の会

高齢の新春のつどいが1月29日行われました。参加者は46人。お楽しみ品の演奏では、手品あり、手話ダンスあり、ビンゴありとにぎやか。初めて参加した方は「こんな楽しい会は毎年参加したい」と話しました。(染合)



澤田所長が篠笛 新春のつどいで楽しいひととき

かわしん友の会



2月10日(水)、恒例の「新春のつどい」が56人の参加で行われました。友の会会員さんの踊りあり、手品ありと楽しいひとときを過ごしました。

川島診療所の澤田所長と歯科の永江事務長による篠笛の演奏は、たった2週間の練習期間での発表でした。篠笛は患者さんからの寄贈です。澤田所長は「本番で失敗したのは心残り」と。ぜひ次の機会をつくりたいと思います。(大塚)



かわしん友の会
青山 豊次 (中野区中央)



神田川橋めぐり(1) スケッチをしながら

花街の名残りをとめるのは今では橋だけになったのかも知れない。神田川にかかる中野区内の橋は三十余を数えるが、その13番目の「しんばし」が私の家からは一番近い。それより川上は散歩道が途切れているので自然足は川下に向かう。



この辺りは川がほぼ東西に流れているので右側は日陰、左側は日当たりが良い。どちらを歩くかは季節によるかも知れない。私の場合は「スケッチ」をするのである。

「しんばし」の次は「桜橋」、そして「花見橋」と続く。この橋の欄干にたたずみ、東のほうを眺めている人をしばしば見かける。ただ西新宿の高層ビルを見ているだけではないように思える。風景の変わりにビックリしてとまどっているように見えるのである。

関東にも今なお被害者 水俣病検診でほぼ全員に感覚障害

中野共立診療所で開催

チッソ水俣工場から排出されたメチル水銀に汚染された九州・不知火海の魚介類を食べ、四肢の感覚障害や運動失調などを起こす水俣病。公式確認から50年が経たずなお、救済されていない被害者が関東にも多く存在することが、関東水俣病検診で明らかになりました。検診は2月7日、中野共立診療所で行われ、関東地域から49人が受診し、46人に水俣病の症状が認められました。

もつと情報開示を 民医連の活動は必要

看護学生が感想

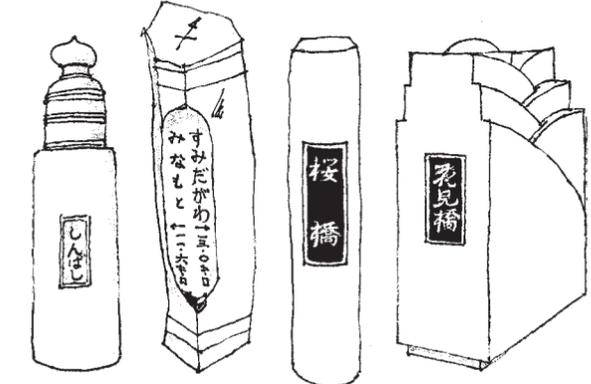
関東水俣病検診に参加した看護学生の杉本佳昭さんは将来、民医連で働こうと学んでいる奨学生です。杉本さんの感想を紹介します。

「頭痛、肩こりがひどく、少しの段差でもつまづいた。鎮痛剤は手放せなかった」「10歳からこむらがえしがあつた」と今なお続く症状を話しました。検診は患者会や健友会・中野共立病院も加入する民医連関東地域協議会などが開きました。



両足を前後してバランスを取れるか、を診る

4人の方の検診に立ち会いました。自分は水俣病と自覚して受診した人は少なく、手のしびれがあつても「歳だから」と言ったり、運動障害があつても「普通はできない」と言ったり、水俣病についても「水俣病の理解が深まったことだけでなく、病気の背景にある社会問題の解決にも挑む民医連の活動に実際に参加してその必要性を知ることができたので参加してよかったと思えました。」



夜は都心のビルの明かりが川面に映りまばたく。水はすいぶんきれいな気がした。幸いこの橋にわたる道路はしばらく行くに双方行き止まりになっていて、その割には広いので橋の上でも少しはゆっくりできる。(続く)

新しい仲間が 371世帯 ～友の会拡大月間～

中野・杉並健康友の会と健友会は、昨年10月から3ヵ月、友の会会員の拡大月間に取り組み、371世帯の方が入会し、目標を達成しました。友の会は、気ままと集まる「おしゃべり会」や健康ウォーキングなど魅力的な企画にまわりの方を誘いました。健友会は、一人暮らし



訪問し入会を訴える城西診療所友の会の高年齢の方には「外出の機会をつくらう」「友だちをつくらう」と入会を誘うなど、未入会の患者さんに声をかけました。また、新たに肺炎球菌ワクチン予防接種の費用割引を友の会入会の特典とし訴えました。

認知症サポーター養成講座を地域に広く宣伝し、参加者が入会するなど新しいつながりを作ることに努力しました。

あなつぷ & あなつぷ 病院・診療所・友の会

恒例の菜花摘み 日帰りバス旅行

やまと健康友の会



2月10日は毎年恒例の菜花摘み。今年の房総はいつもより春の訪れが早いらしく、菜花は咲いていました。畑のおじさんがあらかじめ摘んでおいた菜花の袋詰めをもらいました。そのあと訪れたポピー摘みは、何度来ても楽しいところです。(池田)

早々と完売御礼 新春餅つき大会

桜山健康友の会



1月28日(木)、雨の予想がはずれラッキー！近くの専門学校女子学生も挑戦してついたお餅は次々に売れ、「来年はもっと増やそうか」という声も。疲れもふっ飛びました。(木村)

卓球サークルが 本格派サークルに!

西荻窪診療所・友の会

診療所・友の会の卓球サークルは、毎月第3火曜日に行われています。1月から、元世界選手権日本代表の方が教えてくださることになり、ますますレベルアップ中です。参加者も真剣に講師の球を



食事も・百賀の祝い

これからも元気で明るく楽しく
天沼診療所友の会



2月17日(水)、食事を参拝しました。翌18日に百歳になられる小池よしさんも元気に参加され、みんなでお祝いしました。これからも元気で明るく楽しい日々を過ごしたいと思えます。(犬山)

青年も子どもも 飛び入りで餅つき

桃井診療所友の会

1月24日(日)、桃井診療所で「新春もちつき会」を実施しました。スタッフとして友の会役員さん、職員、さらに、職員の友人の青年が5人も参加してくれました。手際よく行えました。ご近所のお子さんの飛び入り参加もあり盛り上がりましました。つきたてのお餅はやっぱりおいしいね。(小西)



今月の健康

母子手帳を 開いてください

お子さんが小さい頃、せつせと予防接種に通ったのに、小学校に入る頃にもなると予防接種は忘れられがちです。この時期は予防接種が予定通りできていないかを確かめる絶好のチャンスです。引き出しの奥にしまった母子手帳を開いてみてください。

なぜ若い人に 大流行したか

数年前、若い人たちの間で麻しんが流行し、大学の休校も相次ぎました。予防接種をしていたのに麻しんにかかったという人が大量に出たのです。なぜでしょう？



中野共立病院 2階
医師 谷川智行
香川大学医学部(旧香川医科大学)出身
趣味 旅行

入学前に、もう一度予防接種の確認を! ～麻しん(はしか)ワクチンの話～

及すると、自然に感染する人が激減しました。そのため、特に20代以下の多くの人は、このウイルスに触れることはありません。

社会全体で 麻しん制圧を

は年々低下し、感染を予防する力がなくなることもあります。

もともと1回の予防接種では十分な抗体ができない人が数%程度あり、また、十分な抗体ができていても、その後麻しんウイルスに触れる機会がなければ免疫

麻しんの流行後、予防接種のあり方が再検討され、現在では左記のようなスケジュールで、MRワクチン(麻しんと風しんの混合ワクチン)の2回接種が行われています。もちろん無料です。

第1期: 月齢12ヶ月、第2期: 小学校入学前の1年間
さらに、2008年4月から5年間の時限措置で、中学1年生(第3期)及び高校3年生(第4期)にも定期接種が行われています。

連載まんが 第60回 コシマルコ by 金子 由樹 走れ! 訪問看護師



写真でホッと



家を護るシーサー

沖縄・名護市長選挙の支援で歩きながら撮りました。どの家にも左右にらみを利かせていましたが、見る位置によっては愛嬌があったり、間の抜けたようなものがあったりとさまざま、ほのぼのとした印象を受けました。(健友会職員 関 雅之)

投稿

シールきっかけに「九条」

飯島 登(中野区中野)

共立友の会「九条の和」では5年前から、1円玉ほどの大きさの九条シールを販売しています。ハガキ大の台紙に16枚のシールが取り付けてあって1枚100円です。年賀ハガキやその他どこにでも気軽に張り付けられるのです。9条を世界へ・未来へと印字されています。

俳句

凛として 水仙春を 待ちきれず
桜山健康友の会 俳句サークル 広瀬 須美
寒つばき 百賀の席に 彩添えて
杉並区天沼 小池 よし
落の螢 夕餉に添えて 独り酌む
中野区南台 鈴木 梅子

短歌

空襲で両親を亡くせし教え子が
「後期高齢者になる」とう便りあり
中野区弥生町 原 恵子

私のお勧めの映画



「いのちの山河 日本の青空II」

憲法を活かす小さな村の命のたたかい

中野共立友の会 山岸和子(中野区東中野)

「豪雪、多病、貧困」の三悪に苦しむ岩手県・沢内村は、赤ん坊がころころ死んでいく、貧しさで病気を

らうときだけという、世の中の進歩から取り残された村でした。

苦に老人がみずからいのちを絶つ、医者にかかれるのは死亡診断書を書いてもらうときだけという、世の中の進歩から取り残された村でした。戦後、この村に帰ってきた

た深澤辰雄は、「村をよくする医者になれ」との父の遺言を背に、村長になり、「すこやかに生まれ、すこやかに育ち、すこやかに老いる」を目標にかかげ、「生命行政」を実践します。ブルドーザーを導入して除雪し、冬季バスを通し、若い医師を招聘して、老人と乳幼児の医療費を無料化します。

翌年、ついに、1年間に生まれた125人の赤ん坊の死亡率ゼロ、全国初を記録しました。

憲法25条(生存権の保障)を盾に、村民のいのちを守った、沢内村・深澤辰雄村長の感動の物語です。ぜひ、ご鑑賞ください。

友の会サークル訪問 14

うたう会

桃井診療所友の会

ある地域の集まりで歌う機会があり、みんなで声をあわせるのはとても心地よいと始まりました。まずはピアノのある喫茶店で「クリスマスうたう会」。22人の参加で盛り上がり、当面3カ月に1回、診療所内で1年続けることになり、キーボードも購入しました。

昨年12月20日、1年ぶりに喫茶店で「クリスマス会」を開催。アコーディオンも加わり伴奏も充実し、28人が

